

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (4) JAグループの連携による新規就農者支援
JA京都にのくに(京都府)

新規	継続
	○
	(2014年)

1 動機(経緯)	<p>JA京都にのくにでは、「万願寺甘とう」の地理的表示(GI)保護制度への府内初登録などブランド力向上を進め、さらなる生産拡大と販売力強化に取り組んでいます。</p> <p>また、新規就農者への支援として特に「万願寺甘とう」の栽培に特化した農業者への営農指導や規模拡大、法人化等について、JAや信連、JAグループが一体となった取り組みが必要となっています。</p>
2 概要	<p>JAで生産支援として営農指導や資材提供、農業改良普及センターとの連携により、安定的な生産手法の確立と計画的な規模拡大に取り組んでいます。また「万願寺甘とう販売企画プロジェクトチーム」により、生産者と一体となった生産販売を展開しています。</p> <p>金融面ではJAの農業経営資金による低利融資、京都府信連の日本公庫受託資金等の活用により、新規設備導入や規模拡大を支援しています。</p> <p>また、JAバンク京都の「農業・農業者応援プラン」における「新規就農応援事業」、「農業法人化助成事業」等の助成金も活用されています。</p>
3 成果(効果)	<p>「万願寺甘とう」の販売実績は年々伸びており、2017年度は340百万円、2018年度は374百万円になりました。JAを通じた委託販売を行い、就農者の安定収入を確保し生産や規模拡大の計画化を支援しています。</p> <p>JAグループ京都農業法人協会では、法人化を目指す就農者への支援や情報提供をはじめ、多様な農業者・農業法人への情報共有を行うなど、法人化支援、経営支援、メディアへの情報発信を通じた生産拡大、生産者育成を図っています。</p>
4 今後の予定	<p>新規就農支援、生産販売支援、JAバンクの金融支援や「農業・農業者応援プラン」各種の助成制度の活用等を通じ、今後もグループを挙げて農業者の所得向上に向けた取組を行い、地域農業のさらなる成長を応援していきます。</p>

